

兆候発見から回収まで

# 実践講座 債権管理・回収

■受講対象 融資・渉外担当者

■学習期間 3ヵ月

■テキスト 3冊

■添削課題 3回

■受講料 15,000円+税

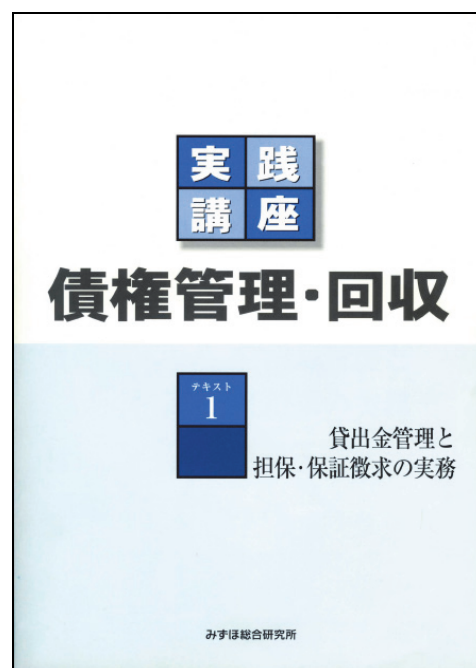
■修了基準 全回提出のうえ平均点60点以上

★日本FP協会継続教育研修認定単位 AFP7.5、CFP15単位(不動産)

## 日常のリスクマネジメントから 整理・回収まで、徹底した実務型

日常の与信管理上の留意点から  
業態悪化の兆候・発生時の対応策  
まで、豊富な事例を交えてわかり  
やすく解説します。

実務経験豊富な執筆者による実  
践的な債権管理・回収講座です。



お申し込み・ご照会先

本講座の受講申し込み・其他のご照会は、下記へお問い合わせください。

**みずほ総合研究所 教育事業部 (金融法人教育グループ)**

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-1 日土地内幸町ビル TEL03-3591-7951 FAX03-3591-7981

<http://www.mizuho-ri.co.jp/> e-mail:tsushin.kyoiku@mizuho-ri.co.jp

# 講座内容

## 貸出金管理と担保・保証徴求の実務

テキスト1

第1章 貸出金管理の重要性		第5章 その他の債券担保	
1. 貸出金の管理		1. ゴルフ会員権担保	
2. 貸出実行段階での留意点	など	2. 診療報酬債権担保金	など
第2章 担保徴求時の留意点		第6章 知的財産権担保	
1. 担保の意義		1. 知的財産権とは	
2. 担保徴求時の留意点		2. 工業所有権担保	など
第3章 不動産担保		第7章 有価証券担保と動産担保	
1. 不動産担保の特徴		1. 有価証券担保	
2. 担保取得上の留意点	など	2. 手形担保	など
第4章 指名債権担保		第8章 保証	
1. 指名債権担保とは		1. 民法の一部改正と保証制度	
2. 預金担保	など	2. 保証契約の当事者	など

## 業態悪化先への緊急対応策

テキスト2

第1章 緊急時における対応		第6章 債務関係人との面談と関係機関への連絡	
1. 緊急時とは具体的にどういう時か		1. 債務者との面談	
2. 緊急時の対応	など	2. 保証人・担保設定者との面談	など
第2章 期限の利益喪失と期限前償還請求		第7章 売掛金・商手支払人の追及	
1. 期限の利益とその喪失とは		1. 売掛金の追及	
2. 期限の利益の喪失事由	など	2. 商手支払人の追及	など
第3章 当座勘定の処理		第8章 仮差押・仮処分による保全	
1. 当座勘定に着目する理由		1. 保全処分	
2. 二つの当座勘定処理の方法	など	2. 仮差押による保全措置	など
第4章 貸出債権等の調査と貸出債権の分類		第9章 法的整理手続等への対応	
1. 貸出債権の調査とは		1. 法的整理手続等への参加	
2. 自行（庫・組）債権の調査	など	2. 各種書類の送達時の対応	など
第5章 事務取扱状況の調査			
1. 約定書類・担保物			
2. （事例3）	など		

## 督促・回収・整理の実務

テキスト3

第1章 時効の中断		第6章 担保処分による回収	
1. 必要性		1. 任意処分と競売処分・収益処分	
2. 時効の援用	など	2. 担保不動産の任意処分による回収	など
第2章 督促の実務		第7章 保全処分と強制執行	
1. 金融円滑化法の実務		1. 保全処分強制執行	
2. 督促の相手方	など	2. 強制執行	など
第3章 回収の実務		第8章 法的整理と回収	
1. 債務者弁済		1. 法的整理と私的整理	
2. 第三者弁済	など	2. 破産	など
第4章 相殺による回収		第9章 不良債権の整理	
1. 相殺の意義と要件		1. 不良債権とその整理の手法	
2. 相殺の方法	など	2. 償却	など
第5章 信用保証協会代位弁済による回収			
1. 請求の準備			
2. 請求の時期	など		

※編集上の都合により、教課内容を一部変更する場合があります。

当パンフレットを当社に無断で複製、転載、改変、編集、頒布、販売などの利用をすることはご遠慮ください。また、当パンフレットの内容は予告なしに変更または廃止されることがございますので、詳細につきましては担当部署へ直接ご確認ください。